

広島交響楽団

東京オペラシティ公演

2025「平和の夕べ」コンサート

Hiroshima Symphony Orchestra

AN EVENING OF PEACE CONCERT 2025 IN TOKYO OPERA CITY

— 被爆80周年

“Music for Peace”

マリア・ジョアン・ピリスを迎えて



©Shumpei Ohsugi



©Felix Brode and Deutsche Grammophon



指揮: クリスティアン・アルミンク
Christian Arming, Conductor

ピアノ: マリア・ジョアン・ピリス
Maria João Pires, Piano

ソプラノ: 石橋栄実 *
Emi Ishibashi, Soprano

コンサートマスター: 北田千尋
Chihiro Kitada, Concertmaster

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第4番 ト長調 作品58

Beethoven: Piano Concerto No. 4 in G major op. 58

マーラー: 交響曲第4番 ト長調 *

Mahler: Symphony No. 4 in G major

2025年

8/8(金) 19時(18:00開場)

東京オペラシティ コンサートホール

Friday, August 8, 2025 7 p.m. [Door open 6 p.m.]

Tokyo Opera City Concert Hall

料金 S¥14,000 A¥12,000 B¥9,000

※小・中・高校生: S・A・Bとも半額(広響事務局と東京オペラシティチケットセンターのみお取り扱い)

主催: 公益社団法人広島交響楽協会 マネジメント協力: KAJIMOTO

【募集】

当日ホールロビーに「明子さんのピアノ」(被爆ピアノ)を展示するとともに、開場時にピアノを弾いていただくことができます。試奏をご希望の方は広響事務局まで事前にお申し込みください。お一人1曲(5分以内)で先着3名様とさせていただきます。

*試奏の様子の動画を楽団SNS等でご紹介する場合がございます。

*昨年アルゲリッチ氏が試奏した様子をYouTubeでご覧いただけます。



KAJIMOTO

癒し、歓び、祈りの第4番

「第35回高松宮殿下記念世界文化賞」を受賞したマリア・ジョアン・ピリスと広響の夢の初共演が実現！2022年の復帰以来、日本でのコンチェルト演奏は今回が初となります。

ベートーヴェンとマーラーの「第4番」で世界に向け、音楽による平和のメッセージを届けます。



クリスティアン・アルミンク(指揮) Christian Arming, Conductor

ウィーン生まれ。ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ルツェルン歌劇場の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に音楽監督に就任した。

これまでチェコ・フィル、ベルリン・ドイツ響、フランクフルト放送響、ウィーン響、トゥールーズ・キャピトル国立管、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ボストン響、N響などに招かれ、オペラでは欧米の歌劇場や新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を拠点に「Music for Peace ～音楽で平和を～」を旗印として活動するプロオーケストラ。

2024年よりアルミンクが音楽監督に、徳永二男がミュージック・アドバイザーに就任。下野竜也が桂冠指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィルのコンサートマスター、シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立し、70年に「広島交響楽団」へ改称。地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。2023年には創立60周年を迎えた。



マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ) Maria João Pires, Piano

1944年リスボン生まれ。現代を代表するピアニストとして、アバド、ハーディング、プロムシュテットらの指揮者とウィーン・フィル、ベルリン・フィルを始めとする各地の主要オーケストラとの共演で世界を魅了してきた。エレクトロニック・グラモフォンを中心に数多くのレコーディングも行い、特に2回の実録があるモーツァルトのソナタ集やベートーヴェン、シューベルト、ショパンなど多くの銘盤を残してきた。1999年にポルトガルにベルガイシュ芸術研究センターを設立し、ワークショップを通じ若い音楽家の育成に励んでいる。

2024年度の高松宮殿下記念世界文化賞を受賞。



石橋栄実(ソプラノ) Emi Ishibashi, Soprano

大阪音楽大学専攻科修了。ケムニッツ市立劇場《ヘンゼルとグレーテル》のグレーテル役で招かれて以来、新国立劇場公演など数多くのオペラに出演している。また、J.S.バッハ「マタイ受難曲」、メンデルスゾーン「エリア」、モーツァルト「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、マーラー「交響曲第4番」、ヴェルディ「レクイエム」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などのソリストとして全国のオーケストラと共演。『NHKニューイヤーオペラコンサート』にも出演した。大阪舞台芸術奨励賞、咲くやこの花賞など受賞多数。大阪音楽大学教授。

明子さんのピアノ

このピアノは、1926年 アメリカBaldwin社で製造されました。ロサンゼルスで生まれた少女 河本明子さんが愛用していました。1933年(昭和8年)河本源吉・シヅ子さん夫妻と共に広島に移り住みました。1945年(昭和20年)8月6日 原爆投下。学徒動員での作業中に明子さんは被爆し、翌7日夕方19歳の生涯を閉じました。病名は「急性放射能障害」でした。ピアノも爆風により、多くのガラス破片で傷つきました。

2005年(平成17年)8月、調律師 坂井原浩氏によって困難な修復作業によって音色を甦らせました。8月3日 被爆60周年記念「被爆ピアノ・チャリティーコンサート」が開催されました。

以来「明子さんのピアノ」は、あの日の出来事を現在へ伝える貴重な「被爆遺品」として、平和の調べを奏でています。

(一般社団法人 HOPE プロジェクト ウェブサイトより)



チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00) ホームページからお申込みいただけます。

http://hirokyo.or.jp

広響事務局 082-532-3080

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 293-934)

e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 (10:00~18:00 月曜定休)

広響webチケット、広響事務局 082-532-3080 (9:00~17:20 土日祝休)

カジモト・イープラス



チケット発売日 カジモト・イープラス一般: 3/23(日)10:00

広響事務局: 3/24(月) 9:00

「kajinomusic」で検索! @kajimoto_News @kajinomusic

- お車でお越しのお客様は東京オペラシティビル駐車場駐車料金の1時間分割引制度がご利用いただけます。
- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
- ご来場の皆様に安心して聴きいただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。